

同窓会会報を創刊します

帝京大学可見高等学校中学校 沿革

回	生	卒 業 生	生 年	卒業人数	
1	回	生	1991年3月卒	1972年生	30人
2	回	生	1992年3月卒	1973年生	58人
3	回	生	1993年3月卒	1974年生	53人
4	回	生	1994年3月卒	1975年生	69人
5	回	生	1995年3月卒	1976年生	79人
6	回	生	1996年3月卒	1977年生	68人
7	回	生	1997年3月卒	1978年生	77人
8	回	生	1998年3月卒	1979年生	64人
9	回	生	1999年3月卒	1980年生	66人
10	回	生	2000年3月卒	1981年生	80人
11	回	生	2001年3月卒	1982年生	111人
12	回	生	2002年3月卒	1983年生	62人
13	回	生	2003年3月卒	1984年生	100人
14	回	生	2004年3月卒	1985年生	138人
15	回	生	2005年3月卒	1986年生	145人
16	回	生	2006年3月卒	1987年生	116人
17	回	生	2007年3月卒	1988年生	137人
18	回	生	2008年3月卒	1989年生	138人
19	回	生	2009年3月卒	1990年生	191人
20	回	生	2010年3月卒	1991年生	150人
21	回	生	2011年3月卒	1992年生	200人
22	回	生	2012年3月卒	1993年生	161人
23	回	生	2013年3月卒	1994年生	166人



第 0 号
 平成25年7月発行
 〒509-0237 岐阜県可見市
 桂ヶ丘1丁目1番地
 TEL 0574 (64) 3211
 FAX 0574 (64) 3214
 同窓会運営事務局
 印刷(株)カメラプランナー

これまでに、
2459名もの卒業生を輩出しました。

本校は、26年前、高校生31名、中学生26名で始まりました。少子化の逆風の中、様々な努力を重ね、今では中学、高校合わせて700名を超える生徒が集う学校に育つて来ました。大学進学のみならず、3、4人に1人が国立公立大学に合格し、東大にも合格者が出る学校になっています。部活動も強化指定部(サッカー部・野球部・水泳部)を中心に元気に活動し、輝かしい成果を出しています。特にサッカー部はこの3年間、全国選手権大会に連続出場し、今年度もすでに全国インターハイへの出場を決めています。

また昨年度には、更なる少子化に備えるべく小学校を開校し、12年一貫教育を施す千人規模の学園づくりに向けて、新たな歩みを進めています。

こうした中、同窓会の皆さんには、20周年記念事業である人工芝グラウンド造成への多額のご援助など、強力で本校をバックアップして頂いていますが、30周年を5年後に控え、2千数百名の会員を擁するまでに成長した今こそ、組織を整えて本格的な活動を始める時期にきているように感じます。多くの会員が集い、豊かな交流の場が生まれることを願っています。



校長挨拶
 校長
古木 純司

帝京大学可見高等学校・中学校の同窓会会員の皆様、多方面でのご活躍のこととお慶びを申し上げます。平成3年3月に第1回卒業生が誕生し、我が同窓会が設立されました。本会は今年、(平成25年3月までの卒業生)で第23回卒業生を加え、設立22年で会員数2500名規模となりました。母校は平成19年(2007年)の創立20周年を経て、もうじき30周年の節目を迎えようとしています。

さて、会員の皆様には母校の後輩の活躍を耳にされていることと思います。進学面だけでなく文化面・体育面と、最近ではめざましい活躍をして、次々と素晴らしい記録をつくっていかれます。

いよいよ本会も会員相互の親睦を図り、会員の「しあわせ」と母校の発展を目的に、同窓会機能を整えてまいります。これまで、皆様には本会の活動を長らくお伝えしております。今後は同窓会会則に沿って役員を選任し本会の事業活動を行いたく、まずは本会第0号の会報にて本会キックオフと総会のご案内を申し上げます。

母校後輩の活躍と会員皆様のご健康を祈念し、併せて母校帝京大学可見高等学校・中学校の益々の発展を願い、挨拶とさせていただきます。



会長挨拶
 同窓会会長
川口 裕介

帝京大学児高等学校中学校 同窓会について

これまで長らく活動らしい活動もしてこなかった同窓会でしたが、平成25年、いよいよ本格的に活動を開始します。私たちは同じ学び舎を母校に持つ『同窓生』なのです。

私たちの母校も創立して27年、平成29年には創立30周年を迎えます。これまでにおよそ2500名の卒業生を輩出した私たちの母校は、もうすでに伝統校となりました。

昭和63年に開校したばかりの母校では、教師も生徒もその保護者もみんな手探りで、伝統を築く志も、岐阜県には珍しい私立の中高一貫教育の申し子としてのプライドも持つ余裕もなく、とにかくがむしゃらに日々を過ごしました。

そのような時期から徐々に進学校としての頭角をあらわしはじめ、各種コース制の導入や特待生制度などを取り入れることとなり、地域からも県内屈指の進学校として認知されるに至りました。

また、スポーツにも注力し、サッカー、野球、水泳をはじめとする様々な部活動が全国を相手に活躍しています。今日では、母校は押しも押されぬ『有力校』と言っても過言ではありません。

同窓会としては、この創立30年を控える今こそ、同窓生同士が手を取り合い母校の発展に寄与するべきではないかと考えました。

総会の実施や会報の発行などによる母校や同窓生たちの動向告知など、積極的な同窓会活動を通して、同窓生同士のまた母校との絆を深めてまいりたいと思っております。平成24年には隣接する土地に帝京大学児小学校も開設され、母校はますます発展していきます。

私たち同窓会も形骸化した組織になることがないよう、手綱を締め運営していきたいと考えておりますので、会員の皆様には会の活動への積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。

役員会活動報告

同窓会役員会では、同窓会活動を本格運営させるために、これまでさまざまな活動を行ってきました。ここではそのいくつかをご紹介します。

平成24年12月8日 役員会

母校サッカー部が第91回全国高校サッカー選手権大会(冬の国立)の国大会出場にむけて、同窓会として積極的に協力する具体的内容について話し合いを持たれました。同窓会からは支援金のかたちで選手たちを応援することとなりました。

また、この役員会では平成25年度の活動計画についても議論され、平成25年度には積極的に同窓会としての活動を行うことを取り決め、総会の開催や会報を発行についての意識合わせを行いました。

平成25年5月25日 役員会

7月15日に開催される同窓会総会を前に、役員各自の準備や役割分担、総会に向けての心構えについて世代を超えて議論を尽くしました。参加者全員が同窓会という会の『在り方』を再確認し、今後同窓会がどのように母校や同窓生に対して役割を持つことができるかについて話し合われました。



平成25年5月25日役員会の様子

役員会で話し合われた内容については、7月15日に開催される同窓会総会にて議案として提出されます。

なお、平成24年12月から平成25年5月までには前述の役員会以外に運営事務局会議を毎月2回ほど開催し、さまざまな議案について議論を重ねております。同窓会役員会は今後も活発な同窓会活動に向けて邁進してまいります。

最近の活動概況

進路・進学概況

進路指導部長 小栗 幸弘

『平成二十五年度の大学入試結果について』

2013年度の大学入試センター試験は、志願者が前年度より約1万7800人増えて、約57万3300人でした。平均点がダウンした影響から、志望校を絞り込む手堅い出願となり、国立大学の二次志願者は約34万4600人で、前年度と比べて約95000人も減少しました。旧七帝大の二次志願状況を見ても、ノベル賞を受賞した山中伸弥教授の効果と見られる近畿圏外からの志願者が増えた京大(2511人増を除いて、東大(978人減)、名大(469人減)、阪大(1713人減)が前年度と比べて大きく減らされており、7大学で計2520人も減少しました。

しかしこの志願者減は13年ぶりに二段階選抜(足切り)を実施しなかった東大の文工に見られるような文系学部が中心で、理系学部では平均点ダウンの影響で志願者が東工大へ流れ、東大を除き、志願者が増加した大学が目立ちました。

私立大学では、18歳人口が増加し、難関大学の志願者数が増える予想されていますが、難関関の慶應と早稲田が前年比98%・99%で、6・7年連続で志願者減、MARCH明治・青山学院・立教・中央・法政では、青学、立教、法政で志願者が増加、4年連続で志願者数日本一の明治と中央で減少しました。

近年、「浪人のリスクがある難関大学を避け、合格確実な大学を目指す安全志向が強くなり、MARCHの中では難易度が低めの法政が特に志願者を増やしている」と分析する有識者もいます。

今年度は、センター利用入試の志願者が増えた大学が多く、学部系統別では、殆どの大学で志願者が増やした理工系に対して、文系学部では、法学系を中心に社会科学系で志願者減となった難関私大が多かったようです。近畿圏では、同志社、関西、関西学院で志願者が増加しましたが、立命館が約2200人の減少と明増を分けました。「関関同立」全体では、志願者数が前年と比べて約6000人増と、2年連続で志願者数が増加した背景には、阪大や神戸大で後期日程の縮小が進み出願できる大学が減って、「関関同立」を併願する傾向が強まり、さらに経済的な要因も加わって、東京の難関私大を目指す関西出身の受験生が減少している現状があります。

これらに次ぐ大学グループである「産近甲龍(京都産業・近畿・甲南・龍谷)」も、昨年度と比べて京産(産業(6198人増)や近畿(18694人増)などで大幅に志願者が増加しました。地元での最難関の南山が、外国語学部と人文学部を除く5学部で「全学統一入試」を導入した効果で約4000人増(前年比12%)、昨年度名駅に新1名古

屋キャンパスを開校した愛知が約8000人増(前年比105%)、名古屋キャンパスに工学部を新設する中京が約9800人増(前年比104%)、昨年度2年連続で大幅な志願者減だった名城が約41000人増(前年比117%)と各大学とも志願者が増やしました。その他の志願状況を前年比で見ると、昨年度志願者が減少した金城学院や愛知学院も含め、愛知淑徳、相山女学園(中部では2年連続で志願者が増加しました)これらも安全志向と地元志向の高まりが大きな理由と考えられます。

■平成二十五年度の大学入試合格状況
平成二十四年度卒業生166名 * () 内の数字は合格者数

国立大学 (31)

- ★名古屋大学 (3)
- ★名古屋市立大学 (1)
- ★神戸大学 (1)
- ★愛知県立大学 (1)
- ★筑波大学 (1)
- ★富山県立大学 (1)
- ★名古屋工業大学 (1)
- ★福井県立大学 (3)
- ★岐阜大学 (6)
- ★静岡文化芸術大学 (1)
- ★愛知教育大学 (1)
- ★埼玉県立大学 (1)
- ★三重大学 (1)
- ★奈良県立大学 (1)
- ★信州大学 (1)
- ★釧路公立大学 (1)
- ★山梨大学 (2)
- ★名桜大学 (1)
- ★福井大学 (1)
- ★防衛大学校 (1)
- ★和歌山大学 (1)

帝京大学グループ校 (19)

- ★帝京大学
国経済 (1)・法 (1)・文 (1)・外国語 (2)
教育 (1)・医療技術 (2)・福岡医療技術 (1)
ヒューマンケア (看護 1)
- ★帝京平成大学
健康メデイカル(理学療法 1・臨床工学 2)
地域医療 看護 1・柔道整復 1・救急救命士 1
- ★帝京科学大学
生命環境 (1)・医療科学 (看護 1・理学療法 1)

私立大学 (269)

- ★早稲田大学 (1)
- ★明治大学 (3)
- ★青山学院大学 (2)
- ★法政大学 (6)
- ★東京理科大学 (4)
- ★芝浦工業大学 (1)
- ★同志社大学 (2)
- ★立命館大学 (12)
- ★関西大学 (3)
- ★南山大学 (12)
- ★愛知大学 (9)
- ★名城大学 (13)
- ★名産工業大学 (26)
- ★豊田工業大学 (1)
- ★藤田保健衛生大学 (2)
- ★愛知医科大学 (1)
- ★成蹊大学 (2)
- ★成城大学 (1)
- ★日本大学 (2)
- ★東洋大学 (4)
- ★駒澤大学 (4)
- ★専修大学 (1)
- ★京都産業大学 (5)
- ★近畿大学 (5)
- ★龍谷大学 (1)
- ★名古屋外国語大学 (6)
- ★愛知淑徳大学 (12)
- ★金城学院大学 (3)
- ★相山女学院大学 (1)
- ★愛知学院大学 (15)
- ★愛知工業大学 (3)
- ★中部大学 (21)

ほか

部活動概況

生徒の活躍(平成24年度)

ぎふ清流国体・馬術競技(山県市特設馬術競技場)

高3 萩尾 唯 少年馬場馬術 第3位

【沖水荘一学術文化奨励賞 受賞】

高校野球部

春季大会 岐阜県大会出場(地区優勝)

全国高校野球選手権岐阜大会 ベスト8

秋季岐阜県高等学校野球大会 ベスト4

3位決定戦(大野レインボースタジアム)

帝京大可児416大垣日大

岐阜県私立高等学校親善野球大会 準優勝

高校ゴルフ部

岐阜県Jr選手権

高3 勝部悠真 7位

岐阜県高校ゴルフ選手権新人大会

(各務原カントリークラブ)

高1 勝部崇紘 11位(中部大会予選通過)

高校卓球部

岐阜県高校総合体育大会

高3 西川奈美 女子・単 県大会出場

高校テニス部男子

岐阜県高校総合体育大会

団体 県大会出場

高3 丹羽涼介 男子・単 県大会出場

高校バドミントン部女子

岐阜県高校総合体育大会

団体 県大会出場(地区準優勝)

高2 佐藤・三宅 女子・複 県大会出場

(地区3位)

高校サッカー部

岐阜県高校総合体育大会 ベスト8

高2 杉本太郎 U16日本代表イラン遠征 参加

高2 三島頌平 U17日本代表国際ユース

サッカーin新潟 参加

高2 杉本太郎 豊田国際ユースサッカー

大会(豊田市運動公園球技場) 出場

高2 杉本太郎 U16日本代表候補トレニー

ングキャンプ(千葉キャンプ) 参加

高2 杉本太郎 AFU(アジアサッカー連盟)U16

Championship in Iran

2012 大会MVPに選出

全国高等学校サッカー選手権大会岐阜県大会優勝

決勝 帝京大可児110各務原(長良川

球技メドウ)

全国高等学校サッカー選手権大会:1回戦(神

奈川県相模原麻溝公園競技場) 勝利

帝京大可児 110 和歌山北

全国高等学校サッカー選手権大会:2回戦(神

奈川県相模原麻溝公園競技場) 敗退

帝京大可児 010 鵬翔(PK314)

岐阜県高校サッカー新人大会 準優勝

高校水泳部

岐阜県春季選手権水泳競技大会(年代別)

高3 米倉薫 50m自由形 1位

100m自由形 1位

岐阜県高等学校総合体育大会

高3 米倉薫 女子200m個人メドレー

1位(大会新)

女子400m個人メドレー

1位(大会新)

高1 奥村文葉 女子100mバタフライ 3位

高1 坂井由依 女子200mバタフライ 3位

女子400mメドレーリレー(井上,米倉,

坂井,奥村) 3位

全国高等学校総合体育大会(新潟県ダイエー

プロビスフェニックスプール)

高3 米倉 薫 出場

高3 米倉 薫 ぎふ清流国体・水泳競技

「競泳」(長良川スイミングプラザ)

少年女子A 400mリレー・少年女子

A400m個人メドレー 出場

岐阜県室内水泳競技大会(長良川スイミング

プラザ)

高3 米倉薫 女子200m自由形 優勝

女子50m平泳ぎ 第2位

高1 坂井由依 女子200mバタフライ 優勝

高校吹奏楽

岐阜県アンサンブルコンテスト岐阜県大会

(羽島市文化センター) 出場

サクソフォン四重奏(加藤匡樹・日比野果歩・

山内聡一郎・松澤実紀)

中高吹奏楽部

吹奏楽コンクール岐阜県大会 銀賞

中学吹奏楽部

岐阜県アンサンブルコンテスト・美濃可茂地

区大会(可児市文化創造 センター)

クラリネット五重奏(森田佳菜穂、永井綾音、

山本絢音、後藤ひかる、二宮美姫、金賞

金管八重奏(伊串美紀、加藤優香、市岡悠花、

林すみれ、伊藤実那、井戸麻菜実、佐藤千尋、

南琴寧) 金賞

可児市少年の主張大会

中2 伊串美紀 優秀賞

高円宮杯全日本中学校英語弁論大会岐阜予選

中3 木村友香 ファイナル進出

U15ボクシング全国大会

中2 藤本翔也 中学生50kg級 第2位

中学サッカー部

岐阜県中学春季大会 優勝

岐阜県中学校総合体育大会 優勝

東海中学校総合体育大会サッカー大会 準優

勝

帝京大可児 112 東海大学付属翔洋高

等学校中等部(静岡1位)

全国中学校サッカー大会 ベスト8

(中3 吉澤奨 優秀選手に選出)

高円宮杯U15サッカー選手権岐阜県大会優

勝 帝京大可児111FCメジャー

(長良川球技メドウ)(PK615)

GFAプレミアカップ U13サッカー大会第3位

中学水泳部

岐阜県春季選手権水泳競技大会(年代別)

中1 日比野隼也 100m自由形 3位

中2 山岡涼奈 100m平泳ぎ 1位

200m個人メドレー 1位

中2 島田由奈 100mバタフライ 2位

全国JOC夏季水泳岐阜県予選会

中1 日比野隼也 男子12歳100m自由形 3位

中1 日比野隼也 男子12歳200m自由形 2位

中2 山岡涼奈 女子13歳100m平泳ぎ 1位

女子13歳200m平泳ぎ 1位

岐阜県中学校総合体育大会

中2 大濱空 男子400m自由形 2位

中2 島田由奈 女子200mバタフライ 2位

中2 山岡涼奈 女子200m平泳ぎ 3位

東海中学校総合体育大会(浜松市総合水泳

場Tobio) 出場

岐阜県室内水泳スプリント大会(長良川スイ

ミングプラザ)

中2 山岡涼奈

13・14歳 200m個人メドレー 優勝

13・14歳 50m平泳ぎ 第3位

JSCA岐阜県ジュニア冬期記録会短水路

(長良川スイミングプラザ)

中2 大濱 空 13・14歳の部 男子10

0m自由形 優勝

中2 島田由奈 13・14歳の部 女子50

mバタフライ

岐阜県室内水泳競技大会(長良川スイミング

プラザ)

中2 山岡涼奈 女子200m平泳ぎ

第3位

中学テニス部

岐阜県ジュニアテニス選手権(長良川テニス

プラザ)

中2 中島美純・奥村妃奈子(中2) 15歳

以下ダブルス 準優勝

U15全国選抜ジュニアテニス選手権大会

東海地域予選(浜松市花川運動公園)

中2 奥村妃奈子 第3位

東海毎日ジュニアテニス選手権岐阜県予選会

(長良川テニスプラザ)

中2 奥村妃奈子 女子ダブルス 優勝

中2 小島梨々華・小島萌萌華 女子ダブ

ルス 第3位

中2 中村美純 女子シングルス 第3位

中2 奥村妃奈子 女子シングルス 第6位

岐阜ジュニアウインタートーナメント

中2 奥村妃奈子・中島美純 中学女子ダ

ブルス ベスト4

中学バドミントン部

中体連地区大会 優勝

岐阜県中学校総合体育大会 出場

中高チアリーディング部

ぎふ清流国体で演技(多治見市・軟式野球会場)



平成25年度 同窓会総会のお知らせ

日 時 7月15日 11:00～(1時間程度)

(受付開始 10:30～)

会 場 帝京大学可児小学校2階 多目的ホール

(帝京大学可児高等学校中学校となり)

総会内容 報告 平成24年度活動報告

議案 平成25年度役員人事について

平成25年度活動計画について

会則の改変について 等

学年同窓会・クラス会を開催する幹事さんへ

学年同窓会・クラス会を開催された際には、会の様子や写真を会報にて掲載させていただきますので、運営事務局までご連絡ください。

住所変更について

同窓会会員情報の整備にご協力ください。以下の会員の個人情報に変更がある場合には、運営事務局までご連絡ください。

- 住所地変更(郵便番号・住所)
- 電話番号
- 氏名

また、会員の中には、郵便物をお届けできない方もいらっしゃいます。そのような場合には、ご本人様に運営事務局までご連絡いただくようお知らせいただくか、ご本人様同意の上、住所情報等をお知らせください。

(なお、個人情報につきましては、細心の注意を払い、適正に取り扱っております。)